



研究部会報告

● 政治と社会と行政の OR・防衛と安全 ● (合同)

日 時：7月23日(金) 15:00~18:10

出席者：29名

場 所：政策研究大学院大学 4階研究会室4A

テーマと講師：

(1)「鉄道利用者に着目したフロー捕捉型配置問題と鉄道流動データへの適用」

田中健一 (電気通信大学)

概 要：ネットワーク上のフローに対してサービスを提供する施設を配置するフロー捕捉型配置問題が取り上げられた。自動車交通流が想定されていた既存研究とは異なり、鉄道利用者の行動に着目した新しいモデルが提案された。さらに、実際の鉄道流動データを用いた鉄道網上の最適配置結果が報告された。

(2)「最近における日本の市町村合併について」

横道清孝 (政策研究大学院大学)

概 要：1999年から2010年かけて行われた平成の大合併について、講演者がその推進に深く関わった立場から論じられた。明治の大合併及び昭和の大合併との比較が行われ、その背景、推進方策、その結果と評価及び残された課題等について論じられた。

● ゲーム理論と市場設計 ●

・第12回

日 時：7月16日(金) 17:30~19:00

出席者：26名

場 所：東京工業大学 大岡山キャンパス西9号館
6階607号室

テーマと講師：

「コア安定性の計算理論」

岡本吉央 (東京工業大学)

概 要：無向グラフを入力値とした最小彩色ゲームのコア非空性判定問題は多項式時間可解ではないといったコア安定性に関する計算理論の結果が紹介され、理想グラフ上の最小彩色ゲームのコア安定性判定問題は多項式時間可解であることが示された。さらにコアの安定性以外についての計算理論での結果が示され、活発な議論が行なわれた。

・第13回

日 時：7月26日(月) 17:00~18:30

出席者：18名

場 所：東京工業大学 大岡山キャンパス西9号館
6階607号室

テーマと講師：

「Robust Virtual Implementation with Almost Complete Information」

国本 隆 (McGill University)

概 要：報告では、まず情報完備な場合について、3人以上の主体がいる場合について、どのような社会選択関数もタイプ空間によらず頑健に、かつヴァーチャルに遂行可能なことが示された。また、ほとんど完備情報である状況を考え、そこでも同様の結果が成り立つことが報告された。